

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2025年 2月 6日

事業所名

個別児童デイサービス ドリームプラス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	メインルームと学習室を有効活用する。	93%	7%	0%	0%	継続して実施。
	2 職員の適切な配置	個別担当制を実施し、支援の質の向上を目指しています。	93%	3%	0%	3%	継続して実施。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	絵カードなどを活用する。	90%	3%	0%	7%	継続して実施し、より保護者様に分かりやすいように写真や文書でお伝えする。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	メインルームと学習室を分けて、活動スペースの確保。空気清浄機やエアコンなどの定期的な清掃および除菌剤の導入など。	90%	3%	0%	7%	掃除が行き届いたトイレや洗面台など衛生面を考慮して日々の清掃を心掛けています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ミーティングでの周知徹底実施。	/	/	/	/	継続して実施。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	ミーティングでの周知徹底実施。	/	/	/	/	継続して実施。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	ミーティングで実施。	/	/	/	/	継続して実施。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	実施しております。	97%	3%	0%	0%	継続して実施。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	実施しております。					継続して実施。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	実施しております。	97%	3%	0%	0%	継続して実施。

適切な支援の提供（続き）

4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施しております。	97%	3%	0%	0%	継続して実施。
5	チーム全体での活動プログラムの立案	お出かけ・クッキングなどでグループ行動の実施。					継続して実施。
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ドリームプラスの3つの柱①個別担当制②お出かけ・クッキングなどのプログラム実施③日々の活動（運動・習字・工作手芸・SST・学習読書会）を通じて子どもたちの心と身体を育てています。					継続して実施。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	日々、工作、習字、SST、運動、読書会など…活動メニューを変えて、プログラムを固定しないようにしています。	90%	10%	0%	0%	継続して実施。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	引継簿・朝礼でのスタッフ同士の情報の共有を実施。					継続して実施。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援後に子ども達で気づいたことなどの情報を日報に記入して情報の共有を実施。					継続して実施。
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳に当日の子ども達の様子を記載を実施。					継続して実施。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	実施しています。					継続して実施。
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	実施しています。					継続して実施。

関係機関との連携	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし。						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし。						
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	実施なし。						
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	グループ会社で就労事業所があるので案内を実施。						継続して実施。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	実施しています。						継続して実施。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	該当なし。	23%	20%	13%	43%	現在実施予定なし。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	福祉業界に関心のある大学生との交流会を実施しています。						継続して実施。
	保	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	丁寧な説明に心がけております。	100%	0%	0%	0%	継続して丁寧な説明を心がけます。
2		児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	丁寧な説明に心がけております。	97%	3%	0%	0%	継続して丁寧な説明を心がけます。	
3		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談があれば答えられる範囲内でアドバイスと実施。	30%	27%	7%	37%	継続して実施し、私達から伝えられる事をお伝えする。	

保護者への説明責・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳やLINEでの情報の提供を実施。	93%	7%	0%	0%	継続して実施。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった際は、答えられる範囲内でアドバイスなど実施しております。	83%	10%	0%	7%	継続して実施。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施してません。	17%	23%	30%	30%	現在実施予定なし。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者を窓口とし、訪問および電話などで対応が出来るよう迅速な対応に努めています。	83%	3%	0%	13%	継続して実施。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードなどを活用して子ども達にわかりやすいように掲示。	97%	3%	0%	0%	継続して実施。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	利用予約表および予定表に活動の概要や行事予定などを掲載し、LINEを通じて情報共有ができるようにしています。	93%	0%	0%	7%	継続して実施。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報が書いた書類は、鍵付き棚に保管。	97%	0%	0%	3%	継続して実施。	
	非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	ミーティングでの周知徹底実施。	80%	7%	3%	10%	継続して実施。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回(4月・10月)に施設内にて避難訓練を実施しております。	67%	7%	3%	23%	継続して実施。
		3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	定期的にミーティングの際に研修を行う。					継続して実施。

子どもの対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状実施なし。					
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者様と情報交換をさせて頂きながら、児のアレルギーに関して細心の注意を払いながら提供をおこなっています。またスタッフにもわかりやすいようにアレルギーのある子どもの情報掲示。					継続して実施。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例があった場合には、ヒヤリハット報告書を作成し、施設スタッフ内での事例共有を心掛けています。					継続して実施。